

気をつけて！不安をあおる

分電盤の点検商法

No. 209

分電盤の点検商法に関する相談が増加しています。

分電盤やブレーカーの点検を持ちかけて訪問し、不安をあおりその場で分電盤の交換を迫る手口です。

中には電力会社や委託会社を名乗り、信用させる事例もみられます。

【事例】

電話がかかってきて分電盤の点検を勧められました。了承したところ、業者が来訪した。分電盤を点検してすぐに「これは古いのですぐに交換しなければ漏電して火事になる」と言われた。今までトラブルはなかったものの、何十年も交換していなかったため、信用して約15万円の交換工事の契約を結び、前金を支払った。しかし、後からよく考えると高額ではないかと思う。工事を中心してほしい。

この他にも、漏電による火災は保険が下りないと言われ不安になり契約した。

分電盤は15年で交換するところが法律で決められていると言われ契約してしまった。などの相談も寄せられています。

◎消費生活センターより

分電盤を含む家庭用の電気設備については、4年に1回の法定点検が電力会社に義務付けられています。法定点検の場合は、必ず事前に書面で通知の上、登録調査機関の調査員証を携帯した調査員が来ます。点検後にその場で何らかの契約を勧誘することはありません。

分電盤に限らず、点検を持ちかける突然の電話や訪問には注意しましょう。

分電盤は経年劣化により故障する可能性があります。心配な場合は電力会社等に相談しましょう。

特定商取引法上の訪問販売に該当する場合は、契約書面を受け取った日から8日以内であればクーリング・オフできます。困った時は、早めに消費生活センターにご相談ください。



問合せ

消費生活センター(2階)

☎(20)11101 FAX(20)1600

文芸コーナー

短歌

船の上デッキで眺める日の入は

ただ美しく夢の世界か 時女 礼子

コブラに似し雑草見つけ

春の日の風爽やかに愛らしく揺れる 秋葉 智恵子

陽は沈む告別の時に経も無く

茶毘に導く今の世哀しき 関 武雄

俳句

新茶摘み八十八夜の別れ霜

卒寿とてみの虫の声聞こえけり

盆始め提灯両手に迎えゆく

風鈴に一句つるして風を待つ

今田 秀子

伊藤 薫

御園生 富美江

村杉 千恵子

川柳

瓦礫処理愛が繋がるボランティア

やはり出たスマホ依存の認知症

光年の星空飾る花火秒

忙しい介護は愛護頑張って！

福田 研治

高山 英子

木原 一成

横田 清

●偶数月は「短歌・俳句・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。
●投稿は楷書でお願いします。作品・氏名(ふりがな)・電話番号を明記してください。

※俳句、短歌、川柳の原稿送付先
〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市役所秘書広報課宛「文芸コーナー」と朱書きしてください。